

レンブクソウ

Adoxa moschatellina L.
レンブクソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

今回の調査で新たな生育地が確認されたので、絶滅危惧Ⅱ類から県域準絶滅危惧とした。やや日陰の路傍でも生育するが、その消長が危惧される。

分 布

北海道、本州（近畿以北）に分布する。県内では小浜市、若狭町、越前町、越前市、南越前町、池田町、福井市、勝山市で確認されている。

種の特徴

低山のやや湿った林内に生える多年草で、細長い地下茎を引いてふえる。全体にやわらかく、無毛、茎は高さ8～15cmで、根出葉とほぼ同長。根出葉は2回3出複葉。茎葉は小さく1対あって3裂。花期は3～5月。茎の先に径5mmほどの小さな黄緑花を5個付ける。

生育を脅かす要因

森林伐採、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○		○	○	○			○			○		○

カンボク

Viburnum opulus L. var. *sargentii* (Koehne) Takeda
レンブクソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で確認されている生育地は4地区と限られ、個体数も少ない。今回要注目から県域準絶滅危惧とした。

分 布

北海道、本州（中北部）に分布する。県内では鯖江市、福井市、勝山市、大野市で確認されている。

種の特徴

落葉広葉樹林内に生える落葉小高木。樹皮は厚く暗灰色であり、縦に裂け目が入る。枝は暗灰色、皮目があり、髄は白い。冬芽は卵形。葉の表面はほぼ無毛。花期は5～7月。花序枝は無毛。核果はやや球形で、濃赤色、液質である。

生育を脅かす要因

森林伐採。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
														○	○	○	○

オトコヨウゾメ

Viburnum phlebotrichum Siebold et Zucc.
レンブクソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では4地区で生育が確認されているが、生育地が限られている。個体数も少ないので、今回要注目から県域準絶滅危惧とした。

分 布

本州、四国、九州に分布する。県内ではおおい町、敦賀市、勝山市、大野市で確認されている。

種の特徴

高さ1～3mの落葉低木で、密に分枝する。枝は細長く、灰色または灰褐色、皮目が散生し、髄は白く小さい。若い枝は帯赤色、無毛である。花期は4月下旬～6月。散房花序は短い枝の先に1対の葉とともにつき、しばしば垂れる。核果は赤熟して光沢があり、液質。

生育を脅かす要因

森林伐採、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○				○									○	○	